
大平洋金属株式会社
2025年3月期 第2四半期決算説明会

2024年11月15日

当社ホームページ

<https://www.pacific-metals.co.jp/>

お問い合わせ先

総務部(IR担当)TEL:03-3201-6681

1. 経営環境について

(1) LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	4
(2) 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	5
(3) 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	6
(4) ニッケル銑鉄(NPI)生産の動向	7

2. 2025年3月期 第2四半期決算実績

(1) 第2四半期決算実績(サマリー)	9
(2) 第2四半期決算実績(トピックス)	10
(3) 連結経常損益分析	11

3. 2025年3月期 通期決算見通し

(1) 通期決算見通し(サマリー)	13
(2) 通期決算見通し(トピックス)	14
(3) 国別販売先の動向	15
(4) 国別販売見通し	16
(5) 連結経常損益分析	17

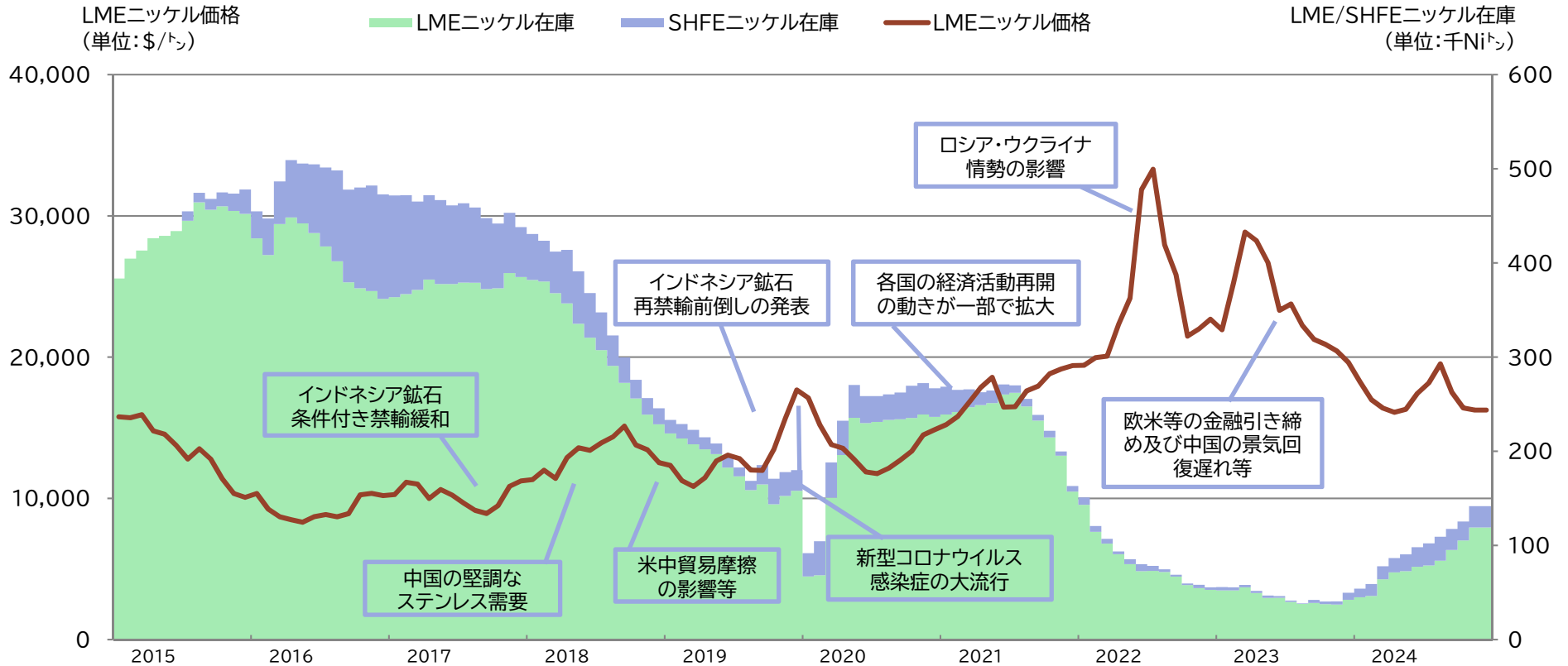
4. 中期経営計画「PAMCO-2024」の進捗状況

(1) 主な重点施策の進捗状況まとめ	19
(2) 鉱石調達について	29

1. 経営環境について

(1) LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移

※当社調べ



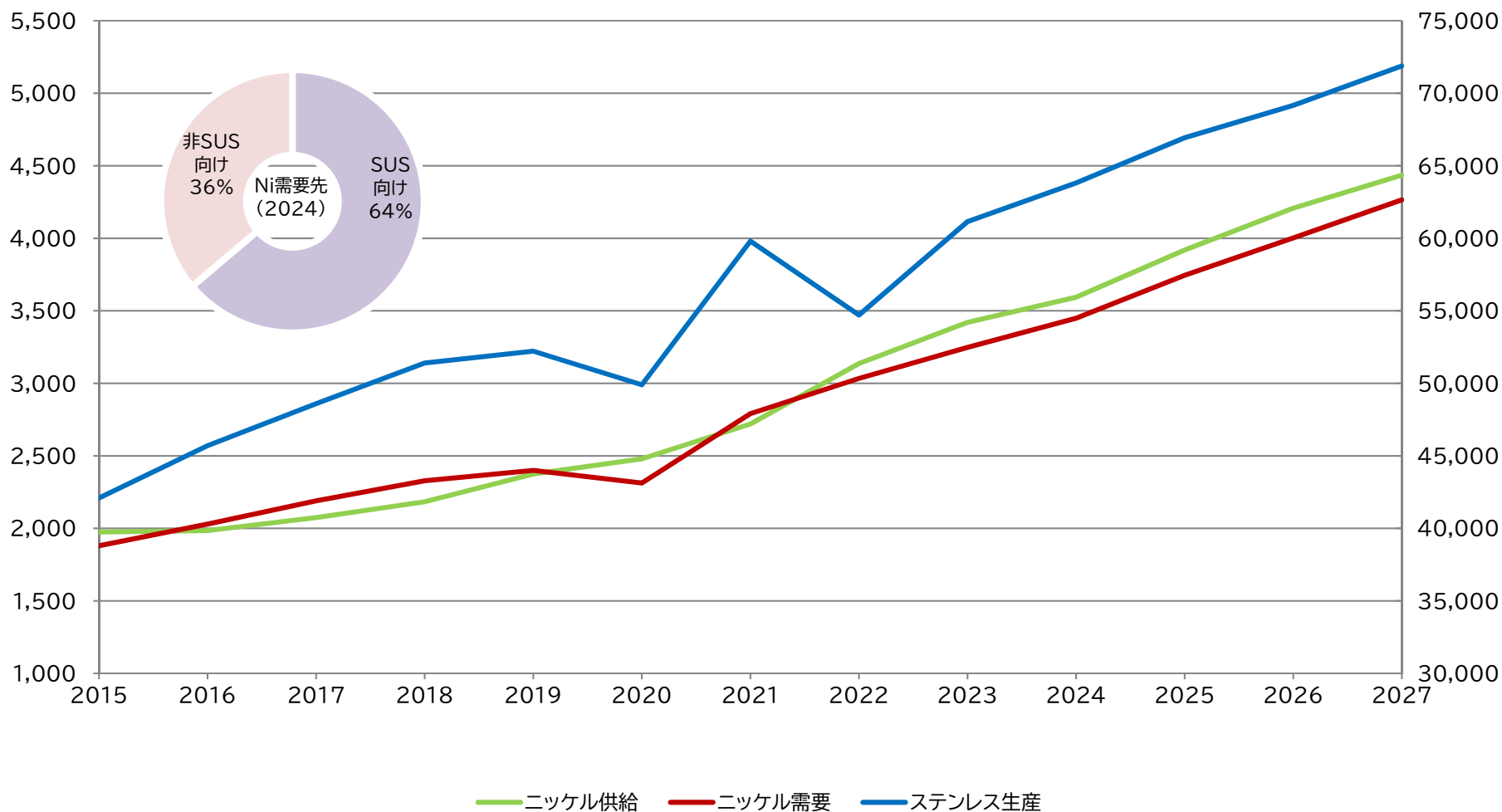
業績の推移	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3
売上高 (百万円)	61,225	47,649	38,697	41,210	49,062	44,133	32,217	57,129	34,852	15,521
営業利益 (百万円)	△7,787	△15,357	△3,070	△3,239	176	△1,879	△493	4,806	△12,588	△9,114
経常利益 (百万円)	△91	△12,283	△515	△203	3,451	972	3,344	12,999	△4,960	△2,119

(2) 世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

ニッケル需給(単位:千Niト)

ステンレス生産(単位:千ト)



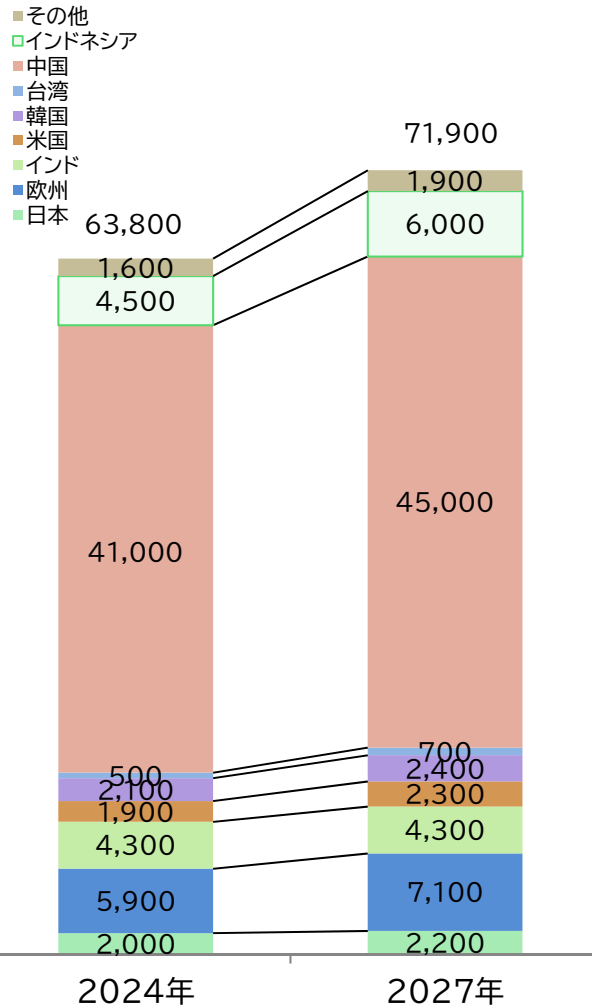
1. 経営環境について

(3) 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

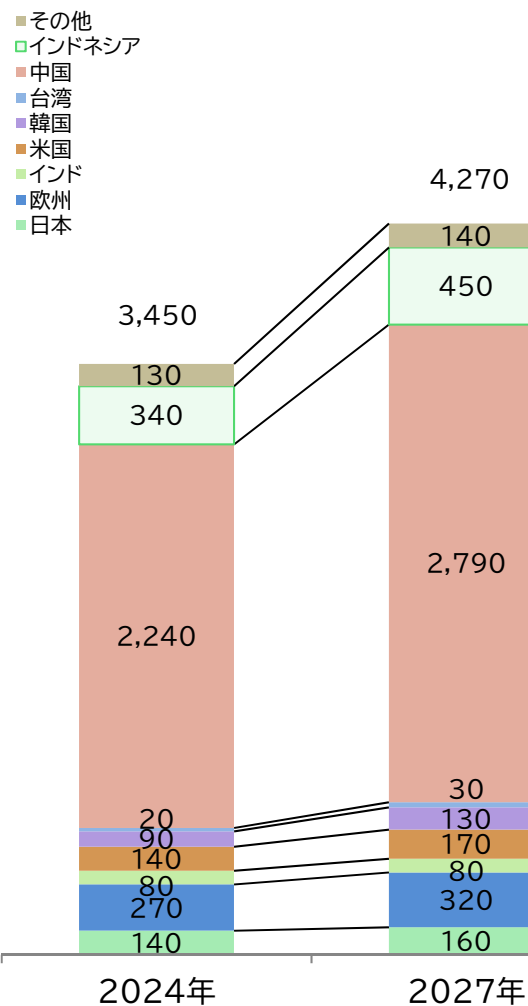
ステンレス生産見通し

(単位:千ト)



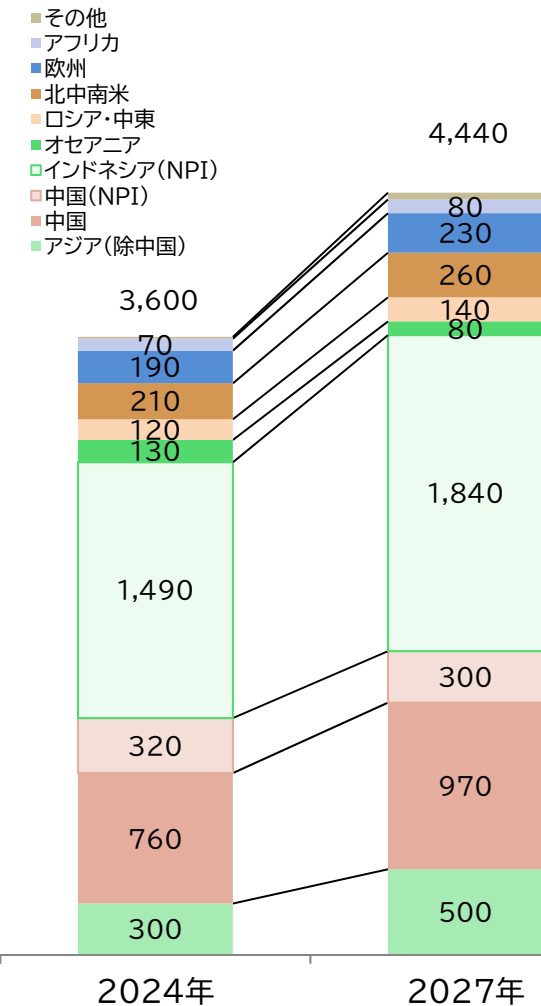
ニッケル需要見通し

(単位:千Niト)



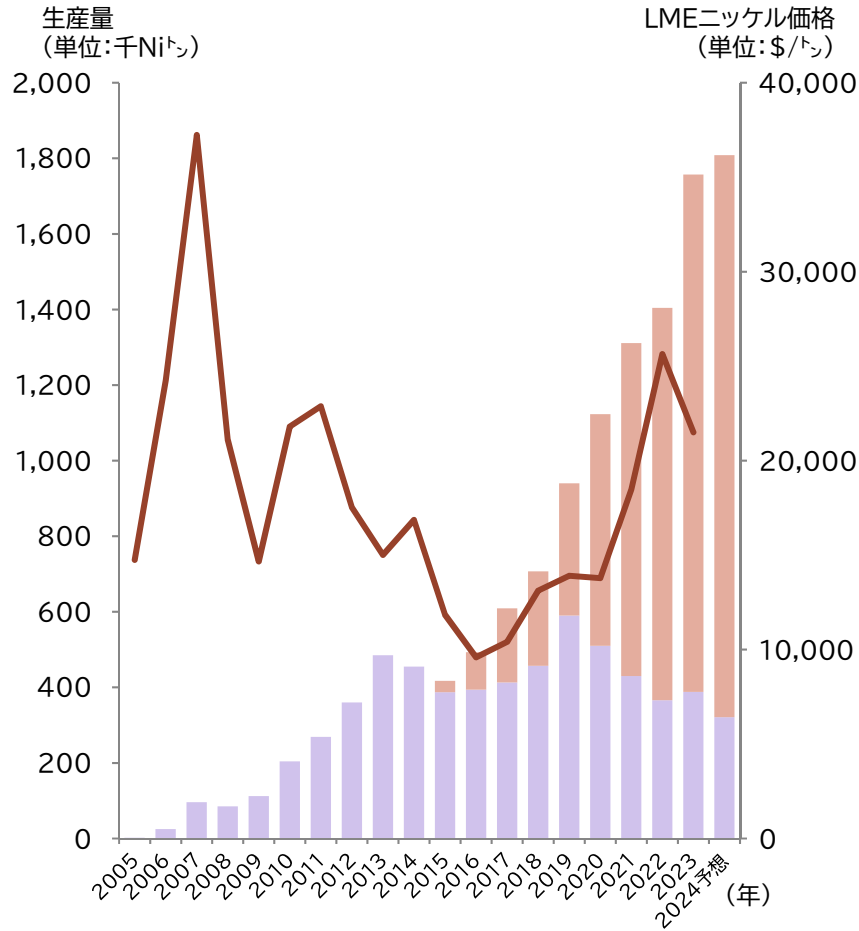
ニッケル供給見通し

(単位:千Niト)



(4) ニッケル銑鉄(NPI)生産の動向

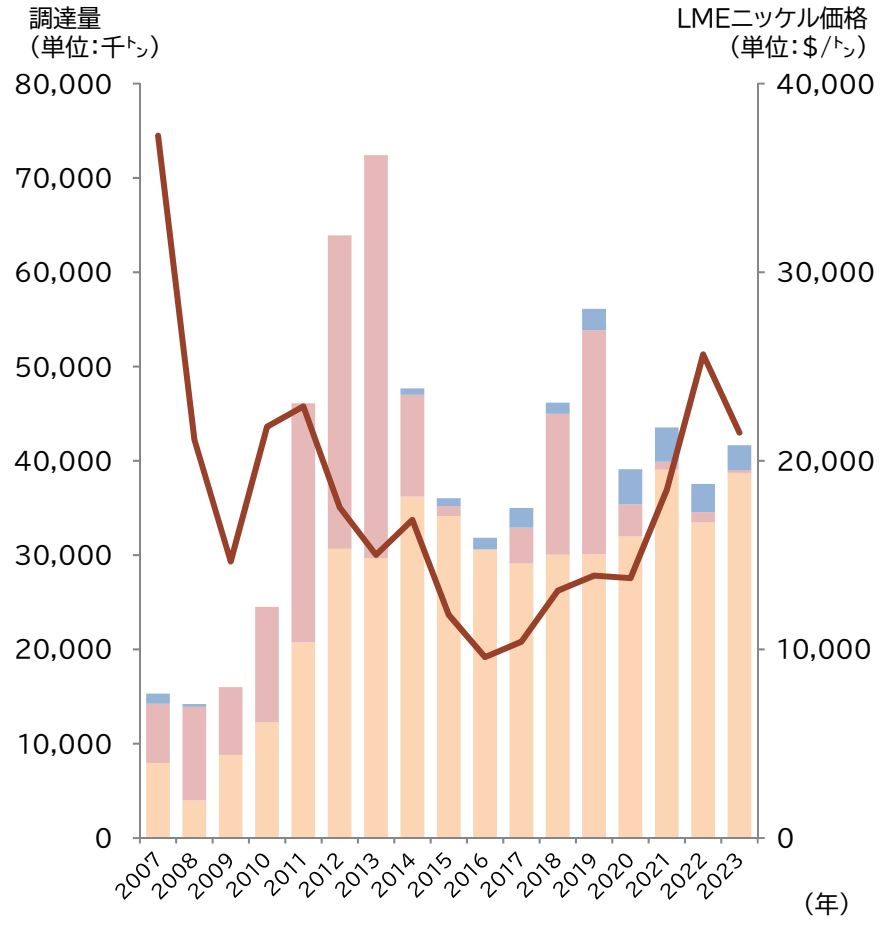
ニッケル銑鉄(NPI)生産量の推移



中国NPI インドネシアNPI LMEニッケル価格

中国のニッケル鉱石調達量の推移

※当社調べ



フィリピン インドネシア その他 LMEニッケル価格

2. 2025年3月期 第2四半期決算実績

2. 2025年3月期 第2四半期決算実績

9

(1) 第2四半期決算実績(サマリー)

	2023.9 実績		2024.9 予想 (7/31発表)		2024.9 実績		対 前年同期比 (%)	対 7/31発表 予想比 (%)
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)		
売上高	8,083	—	7,248	—	7,835	—	△3.1	8.1
営業利益(△損失)	△6,194	△76.6	△3,687	△50.9	△4,468(*)	△57.0	—	—
経常利益(△損失)	△2,487	△30.8	△1,261	△17.4	△2,316(*)	△29.6	—	—
親会社株主に帰属する 中間純利益(△損失)	△2,611	△32.3	△1,346	△18.6	△1,877(*)	△24.0	—	—
(投資額)	176	—	—	—	178	—	1.4	—
(減価償却費)	171	—	—	—	172	—	0.5	—

(*) 棚卸資産の簿価切り下げ額の戻し入れ 15億円(2024.9 実績)を含む

	2023.9 実績	2024.9 予想 (7/31発表)	2024.9 実績	対 前年同期比 (%)	対 7/31発表 予想比 (%)
生産数量(Niトﾝ)	3,210	2,475	2,010	△37.4	△18.8
販売数量(Niトﾝ)	3,052	3,074	3,284	7.6	6.8
適用LME(US\$/トﾝ)	23,766	17,813	17,747	△25.3	△0.4
[適用LME(US\$/lb)]	[10.78]	[8.08]	[8.05]		
適用為替(¥/US\$)	140.18	151.61	153.32	9.4	1.1

(2) 第2四半期決算実績(トピックス)

①生産・販売数量面

- 戦略的な数量抑制方針の継続
 - 価格優位性が見られるニッケル銑鉄(NPI)の価格が、当社の販売価格へも影響し、戦略的な数量抑制方針の継続

②販売価格面

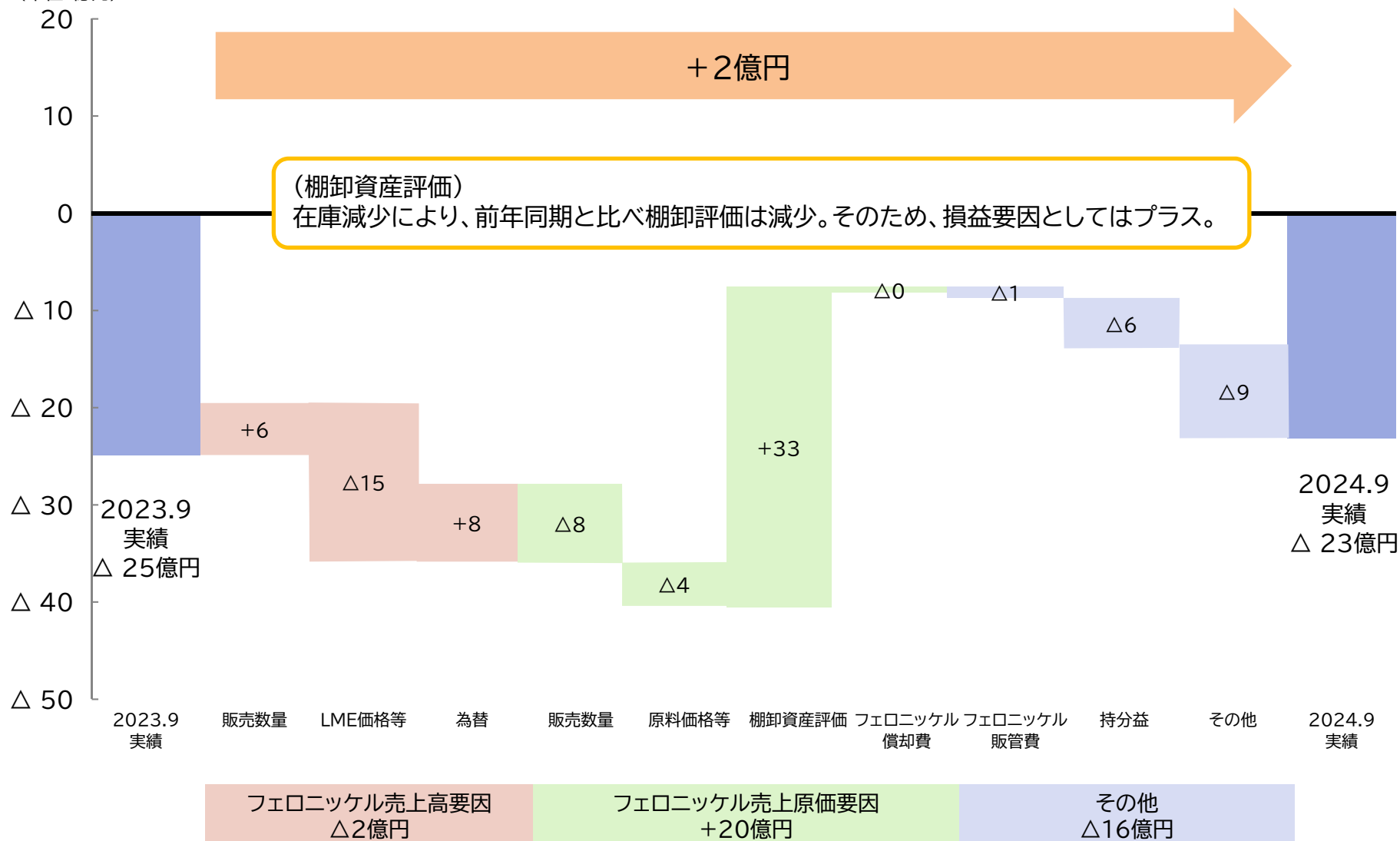
- ニッケル銑鉄(NPI)価格の影響
 - 当社適用LMEニッケル価格と当社適用為替レートに加えてニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準としており、収入が伸び悩む厳しい販売環境が継続

③調達価格面

- ニッケル鉱石価格
 - 調達価格は価格高
- エネルギーコスト(原燃料・電力)
 - 世界的な資源高により価格は高水準にあり、生産コストは高止まりが継続

(3) 連結経常損益分析

(単位:億円)



3. 2025年3月期 通期決算見通し

3. 2025年3月期 通期決算見通し

(1) 通期決算見通し(サマリー)

	2024.3 実績		2025.3 予想 (7/31発表)		2025.3 予想 (10/30発表)		対 前期比(%)	対 7/31発表 予想比 (%)
	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)	金額 (百万円)	利益率 (%)		
売上高	15,521	—	14,229	—	14,096	—	△9.2	△0.9
営業利益(△損失)	△9,114	△58.7	△5,979	△42.0	△7,858	△55.8	—	—
経常利益(△損失)	△2,120	△13.7	△1,555	△10.9	△3,619	△25.7	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△1,074	△6.9	△1,847	△13.0	△3,394	△24.1	—	—
(投資額)	331	—	—	—	529	—	59.8	—
(減価償却費)	350	—	—	—	348	—	△0.6	—

	2024.3 実績			2025.3 予想 (7/31発表)	2025.3 予想 (10/30発表)			対 前期比 (%)	対 7/31発表 予想比 (%)
	上期	下期	通期		上期実績	下期予想	通期予想		
生産数量(Niト)	3,210	2,825	6,035	5,245	2,010	1,950	3,960	△34.4	△24.5
販売数量(Niト)	3,052	2,973	6,025	6,000	3,284	2,769	6,053	0.5	0.9
適用LME(US\$/ト)	23,766	18,563	21,208	17,725	17,747	16,976	17,394	△18.0	△1.9
[適用LME(US\$/lb)]	[10.78]	[8.42]	[9.62]	[8.04]	[8.05]	[7.70]	[7.89]		
適用為替(¥/US\$)	140.18	148.85	144.46	150.42	153.32	139.33	146.92	1.7	△2.3

(2) 通期決算見通し(トピックス)

①生産・販売数量面

- **戦略的な数量の抑制方針を継続**
 - 環境に大きな変化は見られず、収益性の観点から数量抑制の強化を図るため、前回(2024年7月)公表計画と同程度を見込む

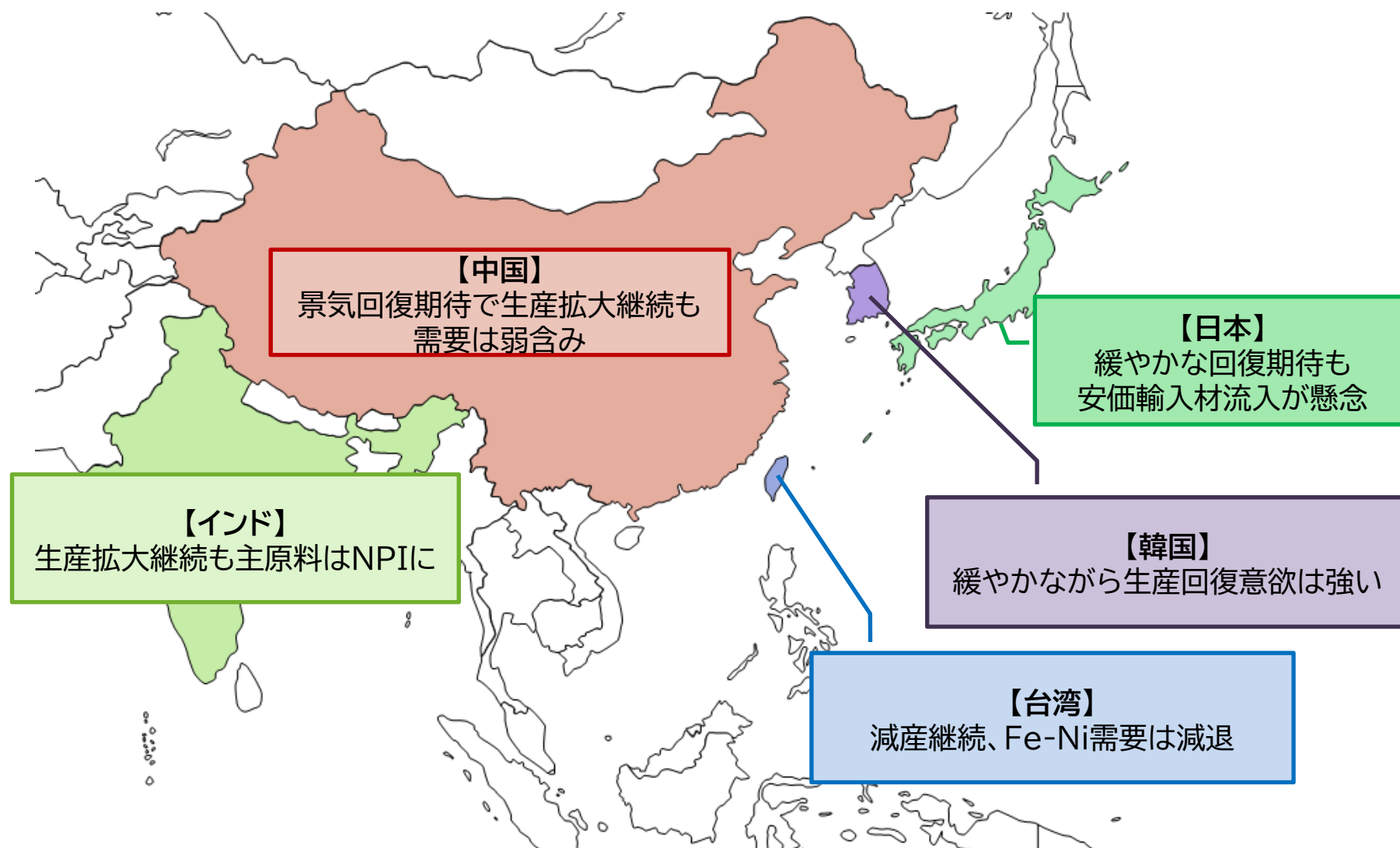
②販売価格面

- **ニッケル銑鉄(NPI)価格の影響**
 - 当社適用LMEニッケル価格と当社適用為替レートに加えてニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準

③調達価格面

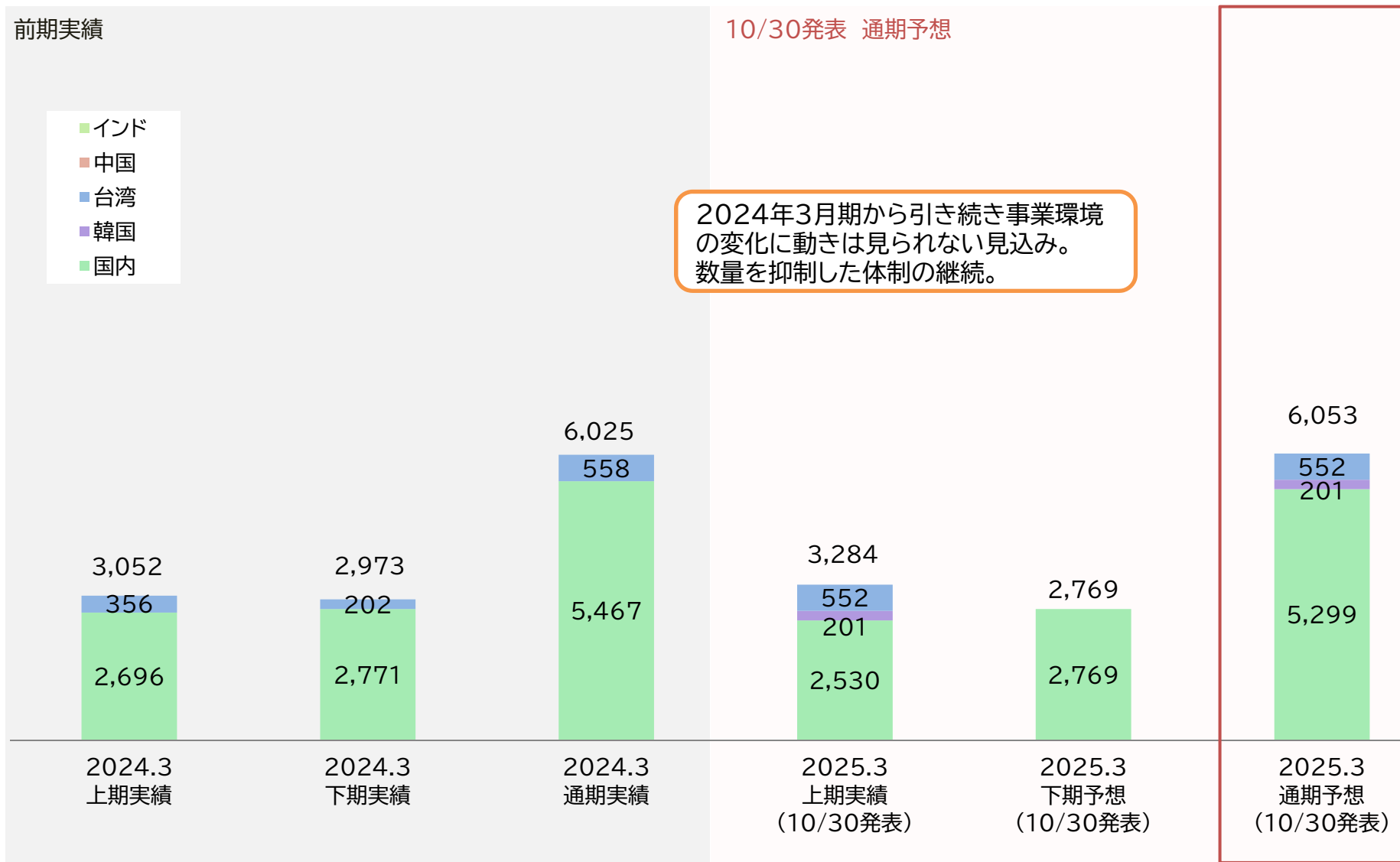
- **原材料・エネルギーコスト高の継続**
 - 主原料であるニッケル鉱石価格及び原燃料や電力の価格は引き続き高水準で推移
 - 損益へ大きな影響が見込まれる

(3) 国別販売先の動向



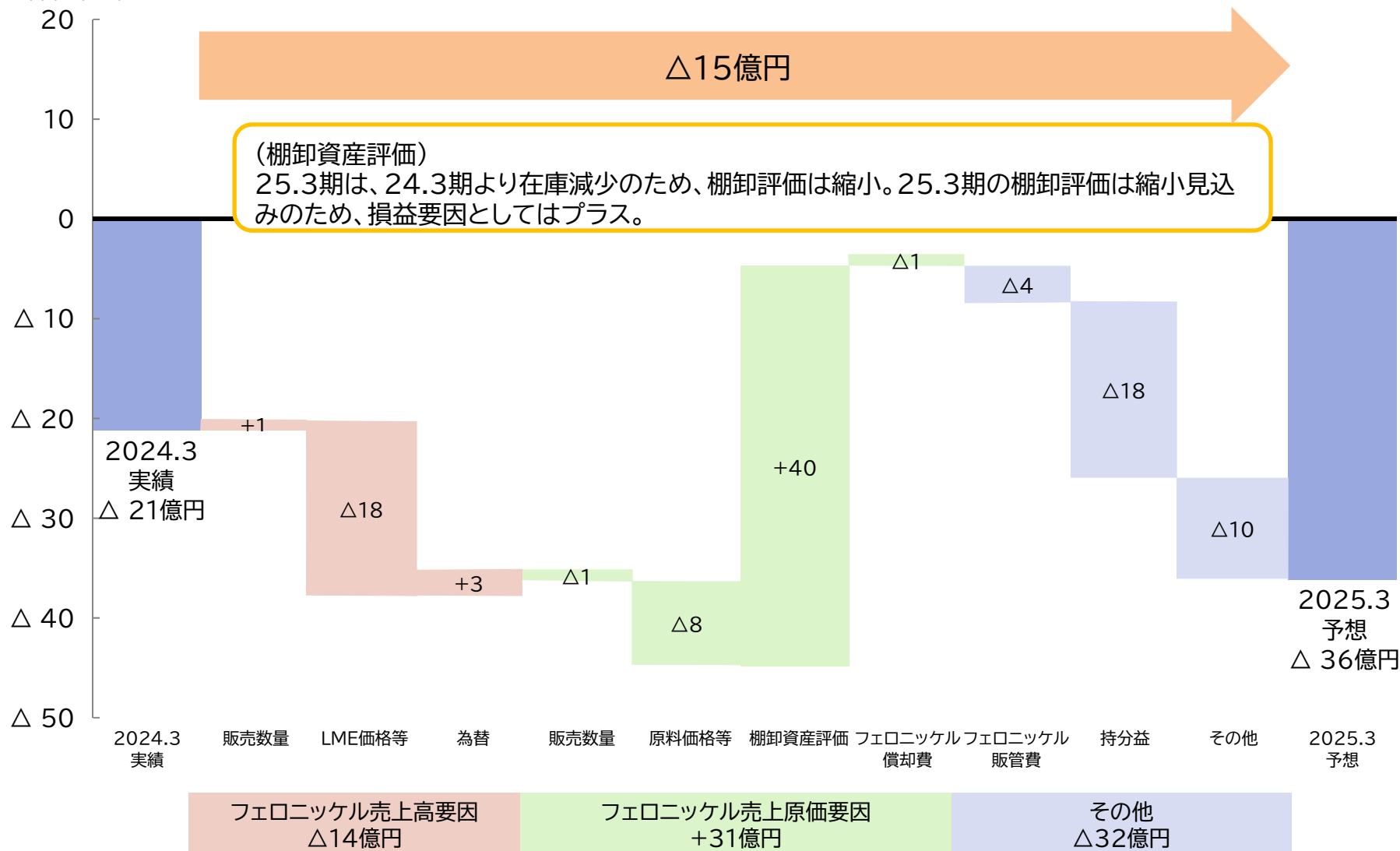
(4) 国別販売見通し

(単位:千トン)



(5) 連結経常損益分析

(単位:億円)



4. 中期経営計画 「PAMCO-2024」の進捗状況

(1) 主な重点施策の進捗状況まとめ

重点施策

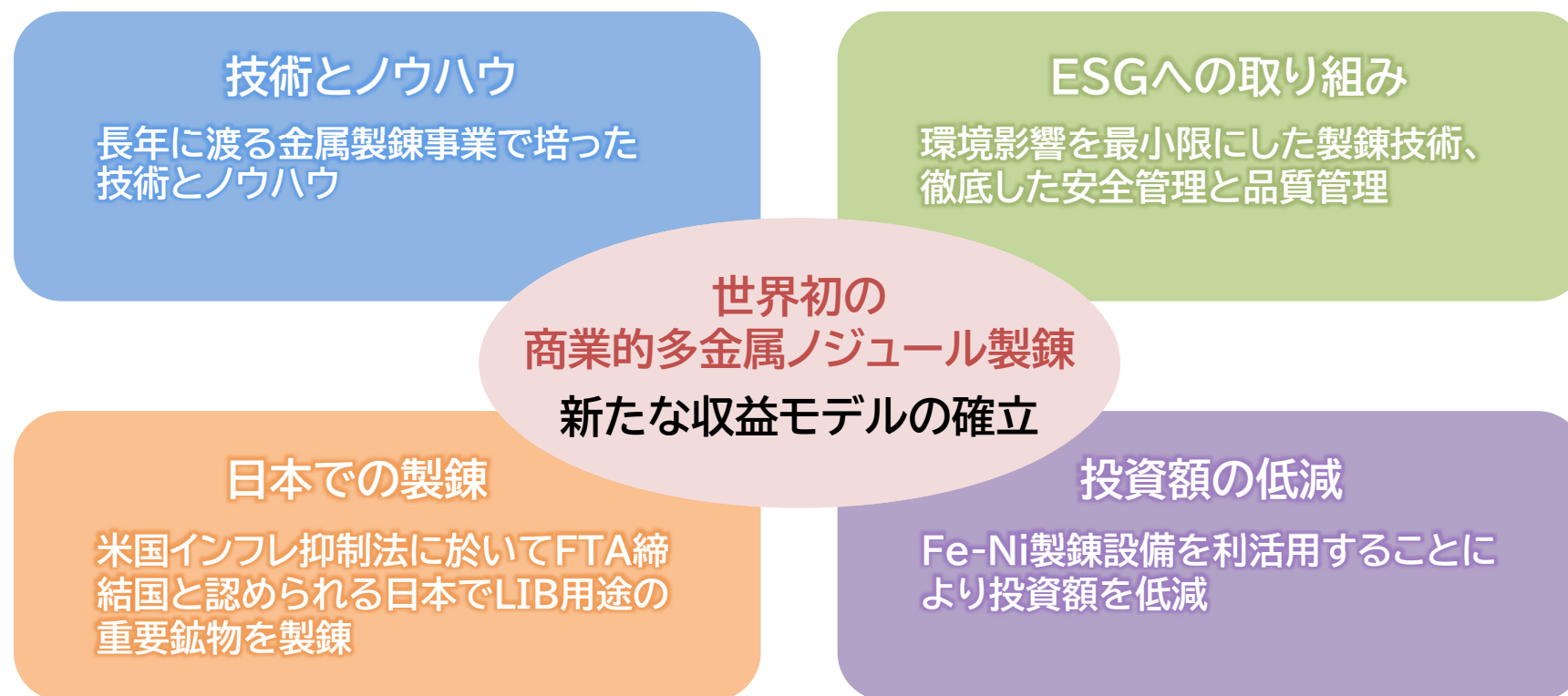
(主にご紹介する内容に下線)

- **社会に貢献する新規事業の創出**
 - 新たな金属製錬プロジェクトの推進①②
 - LIB材料向け原料の製造販売事業の実現
- **海外製錬事業への展開検討の加速**
 - 海外製錬プロジェクトの推進と生産立上げ
- **循環型社会に貢献する国内事業の多角化**
 - リサイクル事業の再構築
- **サステナビリティ課題への対応による企業価値の向上**
 - GHG排出量の低減
 - 地域及び資源国への貢献による共生促進
 - ステークホルダーとの建設的な対話の推進

新たな金属製錬プロジェクトの推進①

海底資源からの新たな金属製錬事業のフィジビリティスタディ(F/S)

◆ 多金属ノジュール受託製錬における当社の強みと優位性

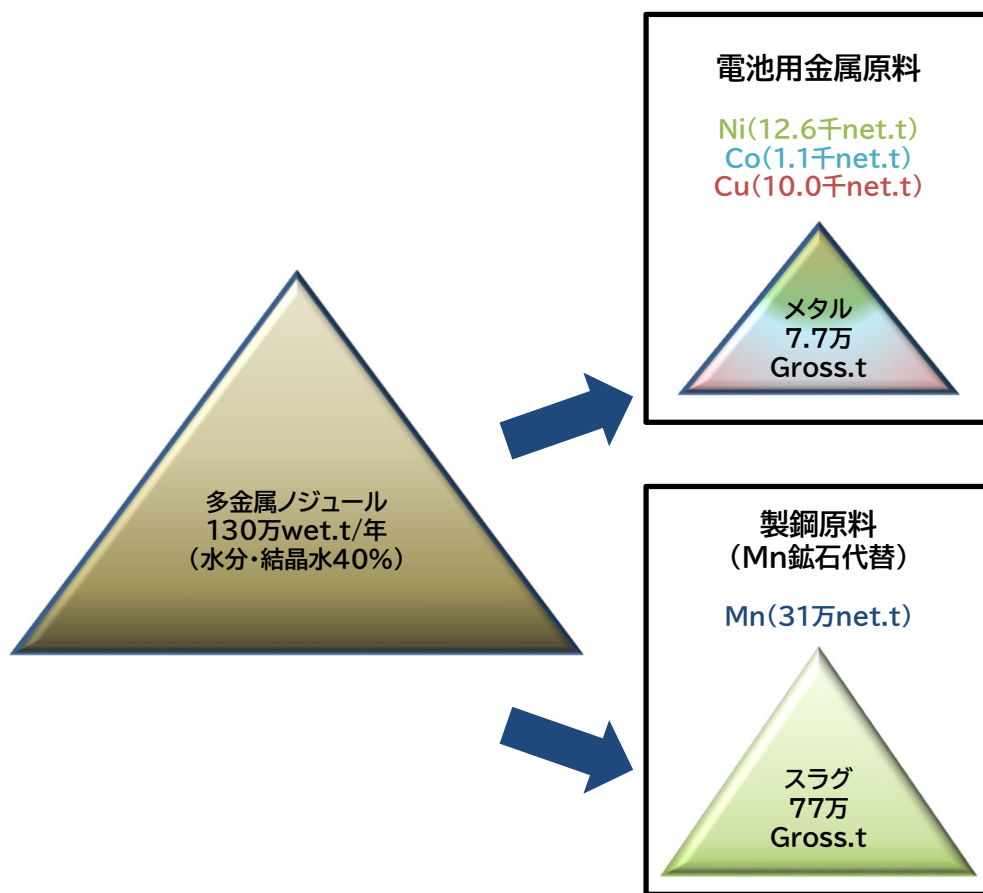


4. 中期経営計画「PAMCO-2024」の進捗状況

新たな金属製錬プロジェクトの推進①

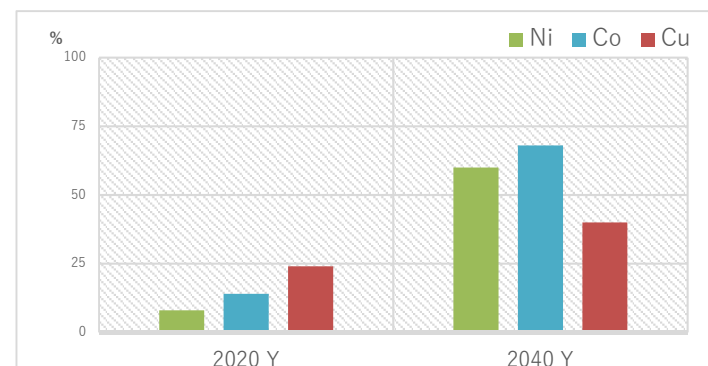
海底資源からの新たな金属製錬事業のフィジビリティスタディ(F/S)

◆受託製錬規模

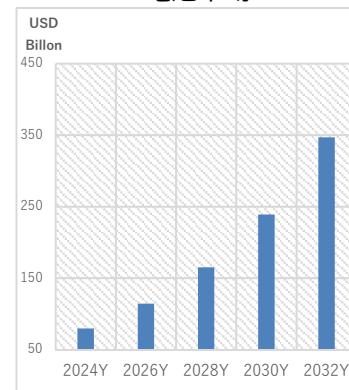


◆製錬から得られる製品の需要

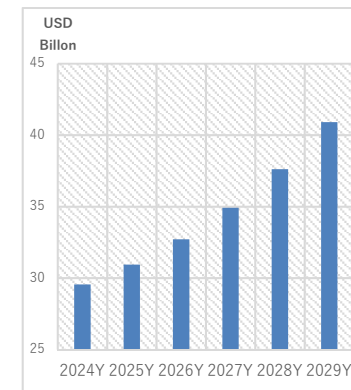
クリーンエネルギー技術用途
Ni、Co、Cuの需要割合



世界のリチウムイオン
電池市場



世界のMn合金市場



4. 中期経営計画「PAMCO-2024」の進捗状況

新たな金属製錬プロジェクトの推進①

海底資源からの新たな金属製錬事業のフィジビリティスタディ(F/S)

◆主な進捗

- ・フェロニッケル製造設備にて多金属ノジュールの煅焼試験に成功

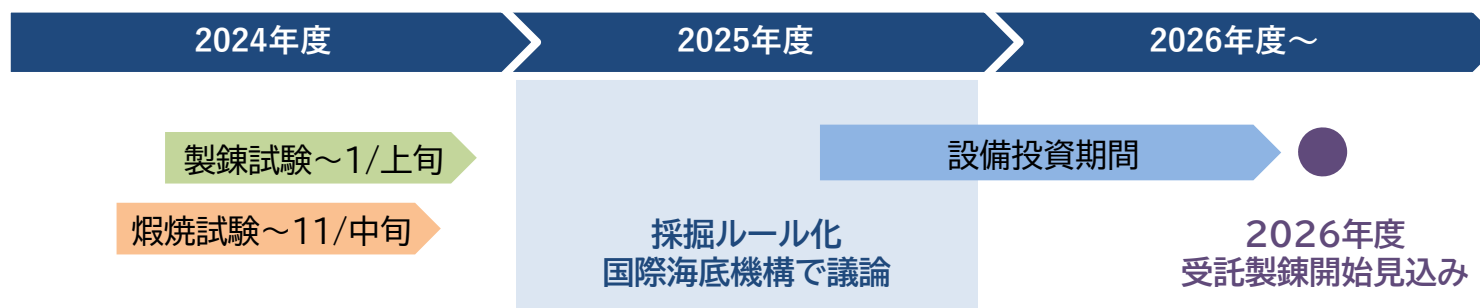
(The Metals Companyプレスリリース2024年9月9日)

<https://investors.metals.co/news-releases/news-release-details/world-first-tmc-and-pamco-achieve-breakthrough-commercial-scale>

The Metals Companyが2022年に試験採掘した多金属ノジュールを用いて、当社最大の全長131m、直径5.5mのロータリーキルンに多金属ノジュール1,200トンを供給し、約500トンの煅焼鉍の製造に成功。

- ・得られた煅焼鉍を電気炉に移し、高品質のNi-Co-CuメタルとMnスラグの製錬試験を実施中。

◆タイムライン



4. 中期経営計画「PAMCO-2024」の進捗状況

新たな金属製錬プロジェクトの推進②

協業によるベリリウム製造販売事業

◆株式会社MiRESSOとの包括的業務提携契約を締結

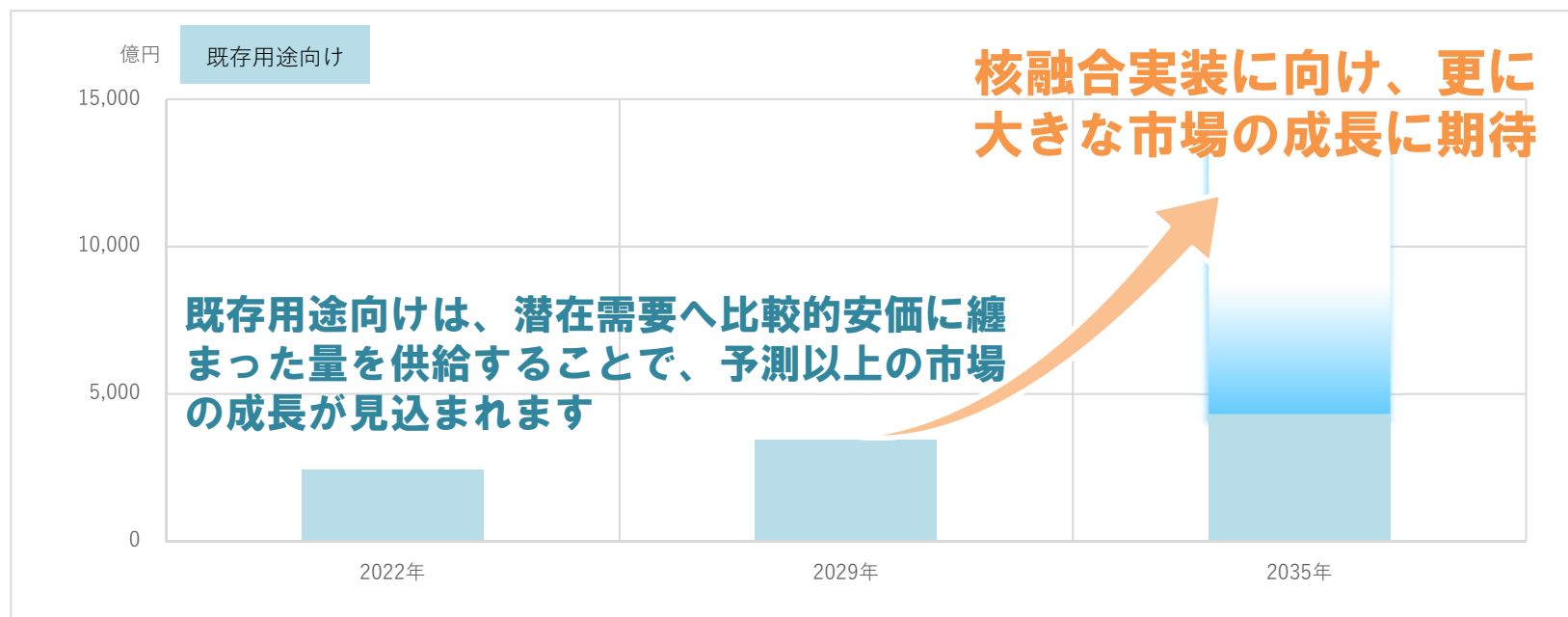
MiRESSOと当社は、MiRESSO独自の低温精製技術のパイロット実証のため、当社の八戸製造所内にベリリウムのパイロットプラントを整備し、2027年度中のベリリウム生産開始を目指します。

※株式会社MiRESSO

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構(QST)の認定を受けた核融合スタートアップ。

革新的な低温精製技術により、ベリリウムを安定かつ低価で供給し、フュージョンエネルギーの社会実装に貢献を目指している。

◆世界のベリリウム市場



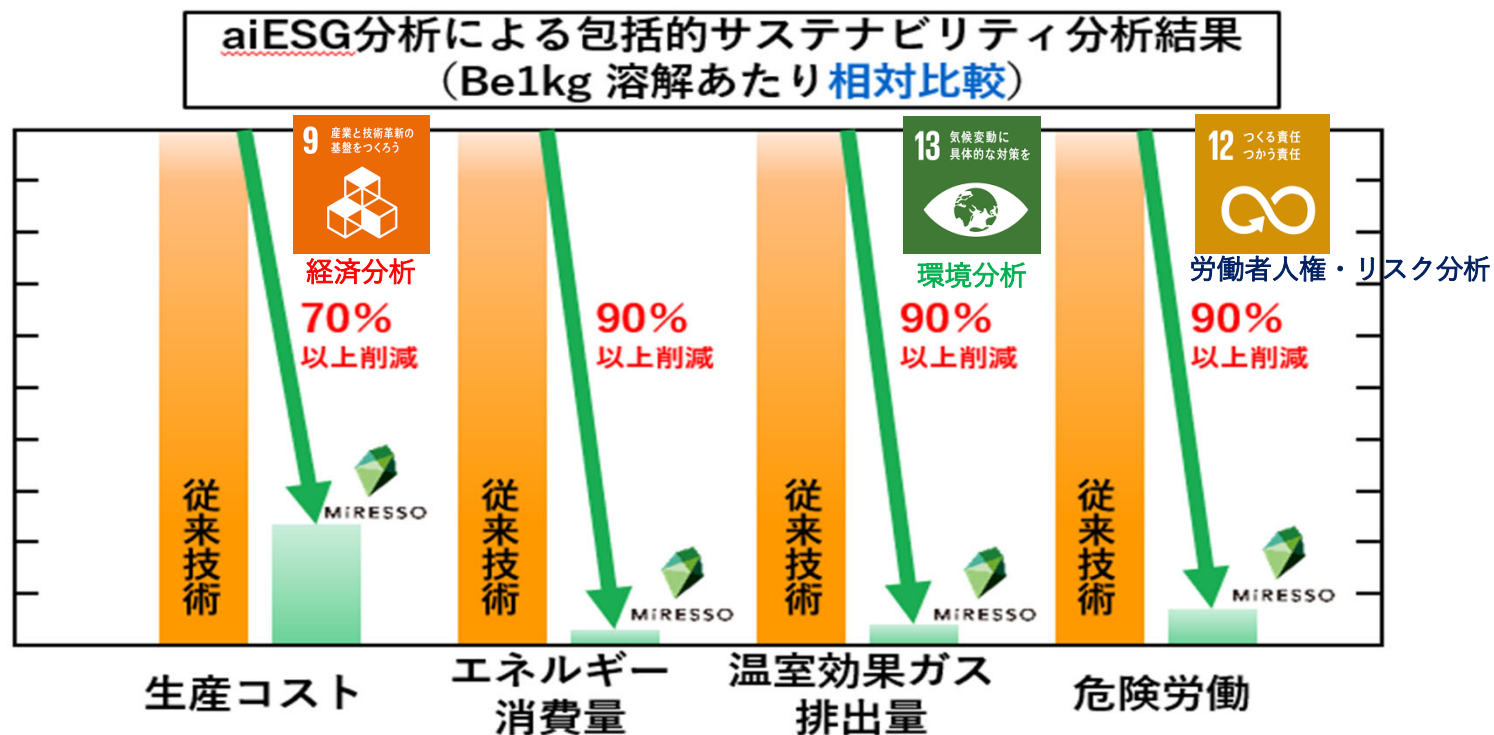
4. 中期経営計画「PAMCO-2024」の進捗状況

新たな金属製錬プロジェクトの推進②

協業によるベリリウム製造販売事業

◆MiRESSO独自の低温精製技術の優位性

低コスト化だけでなく、環境負荷低減も実現可能



経済性・環境・安全性において大きな優位性

新たな金属製錬プロジェクトの推進②

協業によるベリリウム製造販売事業

◆包括的業務提携契約の概要

目的:

「Be製造販売事業」「低温精製技術の技術プラットフォーム事業」の事業化に向け、両社が有する経営資源やノウハウを持ち寄り推進する。

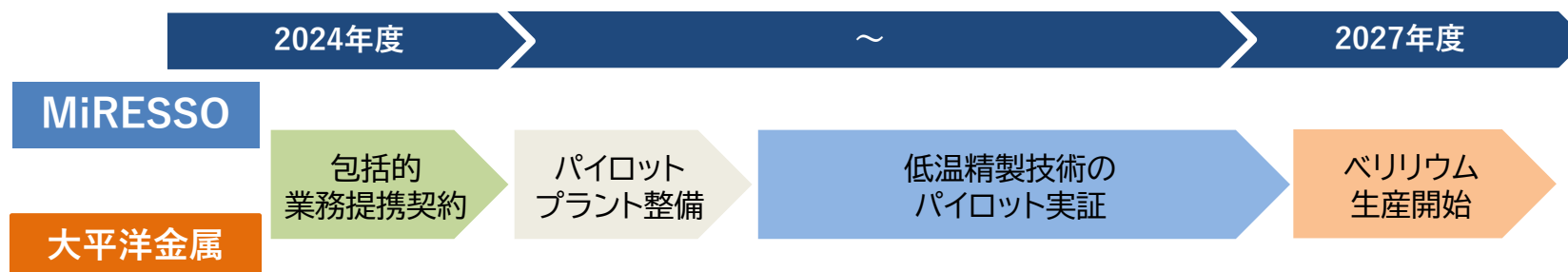
契約範囲:

本事業のための企画、研究、開発、設計、販売業務。

役割:

- ・MiRESSO : 自社が持つ経営資源やノウハウにて主導。
- ・当社 : 自社が持つ経営資源(人員、施設、技術)を合理的な範囲で提供。

◆ベリリウム製造販売事業の基本構想



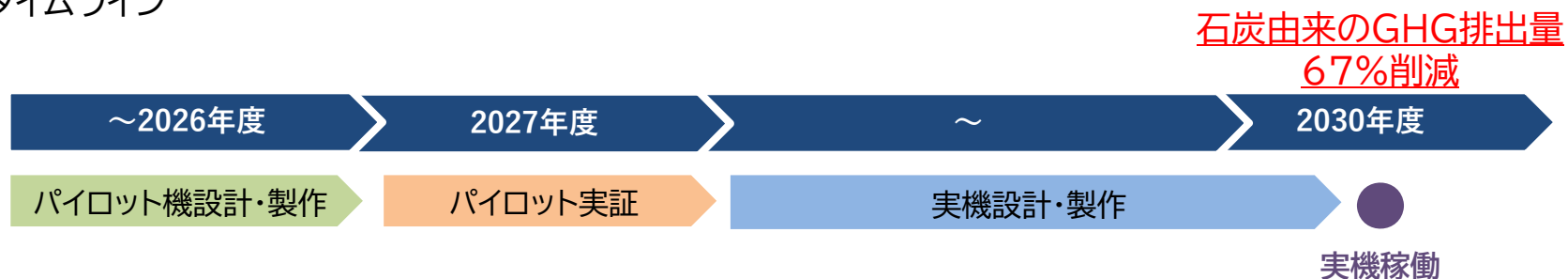
※MiRESSOが文部科学省中小企業イノベーション創出事業におけるSBIRフェーズ3事業採択
「核融合炉用ベリリウム資源安定確保に係る低温精製技術実証」を事業テーマとして、20億円の補助金に採択し、当社とパイロットプラントの整備及び低温精製技術のパイロット実証を予定。

4. 中期経営計画「PAMCO-2024」の進捗状況

GHG排出量の低減

フェロニッケル製造煅焼プロセスの電化

◆タイムライン



◆主な進捗

- ・マイクロ波化学株式会社との共同研究にて、マイクロ波標準ベンチ装置を用いたニッケル鉱石の煅焼及び還元に成功
- ・ベンチ装置にて連続排出運転試験を実施し、現煅焼プロセスに対する新たな優位性を確認

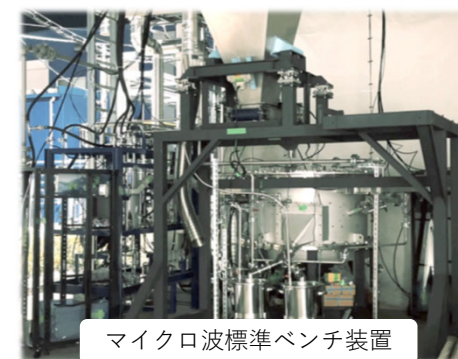
- ✓化石燃料由来のGHG排出量の低減(従来)
- ✓ニッケル鉱石のマイクロ波直接加熱により、エネルギー効率向上(従来)

煅焼炉内のダスト飛散が少なく、排気ラインへのダストがほぼゼロ



- ✓リターンダスト量が大幅に減少するため、再煅焼によるエネルギー使用量が低減(新規)

- ・マイクロ波パイロット装置(数キログラム⇒数トン規模)の設計に向けた検討を開始



他、重点施策

LIB材料向け原料の製造販売事業の実現

- ・米国インフレ抑制法の要件を満たすLIB正極材原料の製造を目指し、2030年からの北米市場への供給開始を見据えて研究開発を推進
- ・事業規模想定は、スケールメリットを出すためにニッケル純分5,000トン/年、コバルト純分500トン/年程度を目指す

海外製錬プロジェクトの推進と生産立上げ

- ・尼国の乾式製錬PJへの外資(当社)参入に伴う課題を理由に当面は実現が難しい状況
- ・乾式製錬PJ権益獲得に拘らず、将来の湿式精錬PJ参画を見据え、要望の強い鉱山操業に関する技術支援を通し関係構築を目指している

リサイクル事業の再構築

- ・製鋼原料及び電池用金属原料の製造販売事業のマーケティング活動を継続
- ・製鋼原料は、年間数千トン規模の需要があることを確認
- ・実機テストにて既存製品と同等評価、希望価格の聴取も進んでいることから事業化の見極めを予定

サステナビリティ課題への対応による企業価値の向上

- ・健康優良企業「銀の認定」(健銀第3036号)を取得
- ・海ごみゼロウィークへ参加

(2) 投資計画の進捗について

(単位:百万円)	「PAMCO-2024」 2025.3計画	2025.3 計画 (2024.5月公表)	2025.3 見直し計画 (2024.11月公表)	比較 対「PAMCO- 2024」 2025.3計画	比較 対2025.3計画 (2024.5月公表)
①設備投資	1,004	309	302	△702	△7
② 1)国内事業	7,472	0	0	※1 △7,472	0
② 2)海外事業・資源	8	3,607	7	△1	※2 △3,600
② 3)研究開発投資	1000	231	220	△780	△11
合計	9,484	4,147	529	△8,955	△3,618

- ※1
PAMCO-2024で計画した新規事業関連を先送り。(硫酸コバルト製造プロセスは確立(特許取得)も、環境の変化に伴い方針を見直し、別原料からのLIB材料向レアメタル製造プロセスの開発へ。)
- ※2
鉱山権益を含むため、外資である当社の参画には課題。解決には相当の時間を掛けた事前準備が必要、当面は資本参加が難しい。海外事業を視野に入れた取り組みは活動は継続。

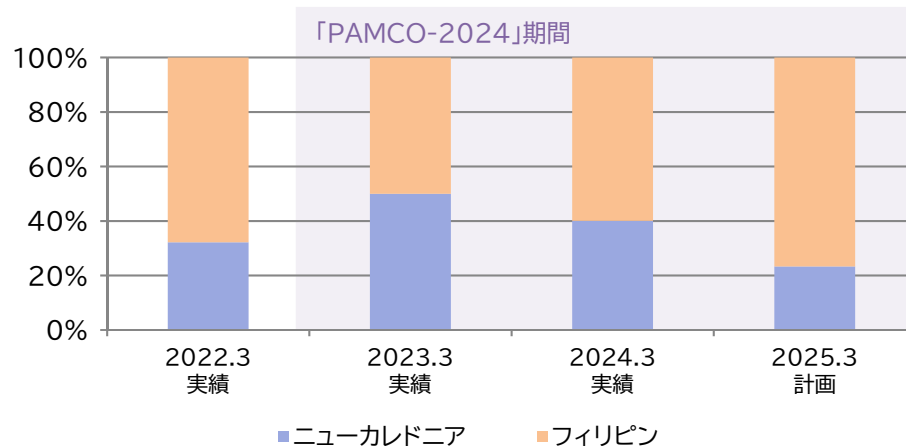
(2) 鉱石調達について

① 長期契約締結状況

長期契約先	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2027.3
■ リオ・チバ・ニッケル社(36%出資)	契約期間:2022.1~2026.12(5年間)				
■ タガニート社(33.5%出資)	契約期間:2022.1~2026.12(5年間)				
■ カグジャナオ社	契約期間:2022.1~2026.12(5年間)				
■ MKM社(1)	(前契約期間)		契約期間:2024.1~2033.12(10年間)		
■ MKM社(2)	契約期間:2016.1~2025.12(10年間)				
■ モンタニア社	契約期間:2016.4~2026.3(10年間)				

■ フィリピン ■ ニューカレドニア

② 調達割合



③ 調達の環境について

【ニューカレドニアのニッケルを取り巻く環境】
 ニューカレドニア鉱石の主要調達元であるSLN社が政治的な理由により地元政府から鉱区内新規エリアでの鉱石採掘許可を得られず。
 鉱石生産量が大幅に減少する見通しになったこと、更に2024年5月に発生した暴動によって鉱山の操業が停止したことにより、ニューカレドニア鉱石の調達量は減少。不透明な環境は継続。

(ご参考)中期経営計画 数値データ

30

「PAMCO-2024」期間 計画値	(単位:金額 百万円)	2023.3 計画	2024.3 計画	2025.3 計画
	生産数量(Niト)	20,810	29,037	28,454
	販売数量(Niト)	20,500	27,500	27,500
	適用LME(US\$/ト)[US\$/lb.]	21,451[9.73]	19,379[8.79]	19,290[8.75]
	適用為替(¥/US\$)	111.05	111.06	111.07
	売上高	50,210	60,958	60,801
	営業利益	925	225	1,809
	経常利益	3,844	2,822	4,549
	親会社株主に帰属する当期純利益	3,513	2,415	4,058
	総資産	89,594	91,934	97,914
	純資産	81,026	82,416	85,797
	投資額	7,089	1,869	9,484
	減価償却費	314	402	536

「PAMCO-2024」期間 実績値・予想値	(単位:金額 百万円)	2023.3 実績	2024.3 実績	2025.3 予想
	生産数量(Niト)	13,380	6,035	3,960
	販売数量(Niト)	12,393	6,025	6,053
	適用LME(US\$/ト)[US\$/lb.]	25,507[11.57]	21,208[9.62]	17,394[7.89]
	適用為替(¥/US\$)	135.26	144.46	146.92
	売上高	34,852	15,521	14,096
	営業利益(△損失)	△12,588	△9,114	△7,858
	経常利益(△損失)	△4,960	△2,119	△3,619
	親会社株主に帰属する当期純利益(△損失)	△5,026	△1,074	△3,394
	総資産	78,825	73,790	70,851
	純資産	72,034	69,060	66,076
	投資額	1,232	331	529
	減価償却費	289	350	348



大平洋金属株式会社

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。
